

平成29年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	堀内理恵
	全体計画						経費区分		-		内線	3248
事務事業名	4123 防犯対策事業											
所 属	130100 市民共創部・市民課											
施 策	03021600 地域安全対策の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	020111 総務費・総務管理費・交通防犯費										
	事業	030000 防犯対策事業										
事業目的						事業概要・効果						
「犯罪のない、安全安心なまちづくり」を目指して関係機関と連携し、各種防犯活動を実施する。						日頃の散歩を通じたまちの見守り活動が定着し、あいさつも自然に交わされ、防犯パトロールや防犯診断が効果的に行われる等、地域の中で自主防犯意識が高まっている。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
刑法犯認知件数 198件 警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	刑法犯認知件数 199件 警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助
平成29年度 予定	平成30年度 予定
警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助
平成31年度 予定	平成32年度 予定
警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助	警察署等と連携した啓発活動 市防犯灯のLED化 区が行う防犯灯設置事業への補助

指標名	市内での犯罪発生件数				
算式	須坂警察署での集計による				単位 件
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				200
	実績	199			
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		14,426	9,763
特定財源	国庫支出金	2,080	0
	都道府県支出金	5,929	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		6,417	9,763
人員数(人)	正規職員	0.5	0.6
	嘱託職員	0.4	0.0
	臨時職員	0.2	0.6
人員コスト	正規職員	3,609.5	4,331.4
	嘱託職員	1,102.0	0.0
	臨時職員	228.6	685.8
	計	4,940.1	5,017.2
市民一人当たりの経費		0.4	0.3
総額		19,366.1	14,780.2

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,986	防犯パトロール用帽子、マグネットシート 防犯灯電気料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	7,527	防犯灯LED化工事（社会資本整備総合交付金事業）
19節 負担金補助及び交付金	4,792	須高防犯協会負担金 防犯灯設置事業補助金（区）
その他	121	駅前防犯カメラ保守点検料他

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	5	講師謝礼
11節 需用費	2,816	防犯パトロール用帽子、マグネットシート 防犯灯電気料
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	2,000	防犯灯LED化工事（社会資本整備総合交付金事業）
19節 負担金補助及び交付金	4,818	須高防犯協会負担金 防犯灯設置事業補助金（区）
その他	124	駅前防犯カメラ保守点検料他

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	犯罪防止、被害拡大を防ぎ市民の生命・財産をまもり安心・安全な暮らせる街づくりに必要な事業	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	新たな犯罪の手口が増加する中、犯罪認知件数が横ばいとなっている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	自主防犯パトロール（青パト運行）等、普段の生活の中での地域の防犯について意識が高まっている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

新規の防犯灯設置は減少傾向にあるが、蛍光灯のLED化に対する要望が増加している。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
特殊詐欺をはじめ、窃盗などでも手口が巧妙化している。引き続き啓発をはじめとする防犯活動が必要と考える。		各町区から要望の多いLED防犯灯の設置については、財政当局に予算の増額折衝が必要と考える。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	